

## スマートコミュニティに関するアンケート（調査票1）

## 1 ご回答者

## &lt;回答時の留意事項&gt;

- ・ アンケートにご回答頂いている方の所属（自治体名、部署名）、連絡先（電話番号、E-mailアドレス）、氏名について回答欄に入力してください。

設問		回答欄
①	自治体名	
②	部署名	
③	電話番号	
④	E-mail アドレス	
⑤	氏名	

2 調査内容

＜回答時の留意事項＞  
 ・各設問について、該当する選択肢の回答欄に○を記入して下さい。（プルダウンリストからも選択可能。以下同じ。）  
 ・「複数回答可」と記載されている設問の回答は、3つまでとして下さい。その他の設問は、最も近い回答を1つ選択して下さい。  
 ・用意された選択肢に、該当するものが無かった場合は、「その他」の欄の（ ）に内容を、回答欄に○を記入して下さい。  
 ・ご回答いただく際、解説資料（一番右のシート）もご覧下さい。青色ボタンを押すと解説資料のシートにジャンプします。  
 ・ただし、設問①だけは、まずは、「解説」を読む前にご回答下さい。スマートコミュニティの現状の認知度を把握する設問となっています。  
 ・黄色背景以外の部分は、入力できません。

設問①は、スマートコミュニティの「現在の認知度」を把握する設問です。「解説資料」を読む前にご回答下さい。

設問	選択肢	回答欄	
設問①	地域のエネルギー関連のインフラ整備において、スマートコミュニティの導入が各地で検討・実施されつつあります。あなたは、スマートコミュニティを知っていますか？	a 言葉を知っている。内容も十分に知っている。 b 言葉を知っている。内容は何となくイメージできる。 c 言葉は知っているが、内容は分からない。 d 言葉を聞いたことがない。内容も知らない。 e その他⇒( )	
	(1)でaまたはbを選んだ方のみ回答してください。具体的な導入事例を知っていますか？ 複数回答可(3つまで)	a 知っている。導入事例を視察したことがある。(具体的な場所: ) b 知っている。機会があれば導入事例の視察をしたいと考えている。(具体的な場所: ) c 知っている。新聞等で見たり聞いたりしたことがある。 d 具体的な事例は知らない。 e その他⇒( )	

【注意】設問①の解説は、回答後に読んでください。 [設問①-\(1\)の解説](#) [設問①-\(2\)の解説](#)

設問②以降は、スマートコミュニティに関する「取組事項」を把握する設問です。「解説資料」を読みながらご回答下さい。

設問	選択肢	回答欄			
設問②	貴自治体では、すでにスマートコミュニティの導入に向けた施策を開始していますか？	a すでにスマートコミュニティの導入に係る施策を開始している。 (具体的な施策名: ) b スマートコミュニティの導入に係る施策化に向けての検討を開始している。 c 域内で事業化が検討されており、行政として関わっている。 d 取り組む予定はない。 e その他⇒( )			
	(1)でaまたはbを選んだ方のみ回答してください。その取組は、貴自治体の何らかの計画等に施策として位置づけられていますか？ 検討中も含めて該当する場合は、可能な範囲で、計画名及び策定年(予定を含む)をご回答下さい。	a すでに計画に位置づけている。 (具体的な計画名: ) 策定年月: ( ) b 計画への位置づけを予定している。 (具体的な計画名: ) 策定年(予定): ( ) c 計画への位置づけを検討中である。 (具体的な計画名: ) 策定年(予定): ( ) d 計画に位置づける予定はない。 e その他⇒( )			
	(1)でcを選んだ方のみ回答して下さい。その取組は、貴自治体の計画等に施策として位置づけられていますか？	a すでに計画に位置づけている。 (具体的な計画名: ) 策定年月: ( ) b 計画への位置づけを予定している。 (具体的な計画名: ) 策定年(予定): ( ) c 計画への位置づけを検討中である。 (具体的な計画名: ) 策定年(予定): ( ) d 計画に位置づける予定はない。 e その他⇒( )			
設問③	スマートコミュニティの導入は、エネルギー以外の面においても様々な効果が期待されます。スマートコミュニティの導入に、どのような地域の課題解決を望みますか？ (現時点で導入の見通しが立たない場合でも、「希望」としてご回答下さい) 複数回答可(3つまで)	a 住宅のエネルギー消費の効率化 (「見える化」によるエネルギー消費の抑制など) b オフィスのエネルギー消費の効率化 (複数建物間でのエネルギー需給の最適化など) c コミュニティの活性化 (高齢者が手軽に利用できる簡易移動手段の確保、住宅周辺価値の向上、商店街の活性化など) d 観光の活性化 (先進的なスマートコミュニティの取組みの観光資源化、既存観光資源と再生可能エネルギーを組み合わせた観光モデルの開発など) e 産業の振興 (エネルギー関連製品の製造・販売等を担う新たな産業分野の創出、再生可能エネルギー事業の育成(維持管理業者)など) f 農林水産業の活性化 (クリーンなエネルギーを活用した農産物の高付加価値化など) g 医療サービスの効率化 (情報ネットワークを活用した効率的な医療サービスの実現など) h エリアにおけるエネルギーの自立化 (再生可能エネルギー等地域資源を活用したエネルギーの自立化など) i 庁舎、病院、学校等における防災対策 (大規模災害時等におけるエネルギーの自立化など) j その他⇒( )			
	設問④	スマートコミュニティの導入に取り組むにあたり、貴自治体の「障壁」となる事項はありますか？ 複数回答可(3つまで)	a 知識・経験の不足 b 人材の不足 c 予算の不足 d 庁内調整(部署間連携) e 事業地の確保 f 特に障壁は見当たらない g その他⇒( )		
		設問⑤	本事業(再生可能エネルギーとスマートコミュニティ研究)に期待することは何ですか？ 複数回答可(3つまで)	a 事例情報の提供 b 製品情報の提供 c 国、都、他自治体などの動向情報の提供 d 電話、メール等による相談受付 e 導入のためのガイドラインの提供 f 他自治体の動向や意見等の情報提供 g 補助金制度の情報提供 h 当該自治体の再生可能エネルギー既存量 i その他⇒( )	

## スマートコミュニティとは

- 新しいまちづくりの考え方です。  
スマートコミュニティとは、電力や交通、情報などの社会基盤を「統合的に管理しよう」「効率よく使おう」といった、新しいまちづくりの考えです。
- 特に、東日本大震災後、電気や熱などエネルギー面からのまちづくりが注目されています。



- スマートコミュニティ(用語)の定義  
府庁としては、経済産業省、国土交通省、内閣府でそれぞれの定義がある。(いずれも意図するところは共通)

アンケートに答える

## 設問①-②の解説

### スマートコミュニティの取組事例①(豊田市)

国内の先進的な事例として、豊田市、横浜市、けいはんな(大阪府)、北九州市などの取組があげられます。  
また、東日本大震災を境に多くの自治体が検討に着手しています。



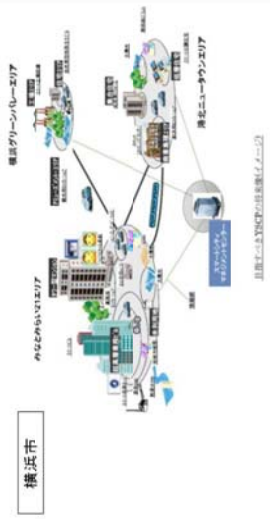
【「京都・コミュニティ型」低炭素都市構築実証プロジェクト

アンケートに答える

## 設問①-②の解説(続き)

### スマートコミュニティの取組事例②(横浜市)

国内の先進的な事例として、豊田市、横浜市、けいはんな(大阪府)、北九州市などの取組があげられます。  
また、東日本大震災を境に多くの自治体が検討に着手しています。



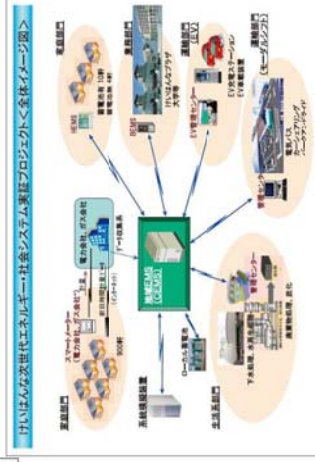
横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)

アンケートに答える

## 設問①-②の解説(続き)

### スマートコミュニティの取組事例③(けいはんな)

けいはんな



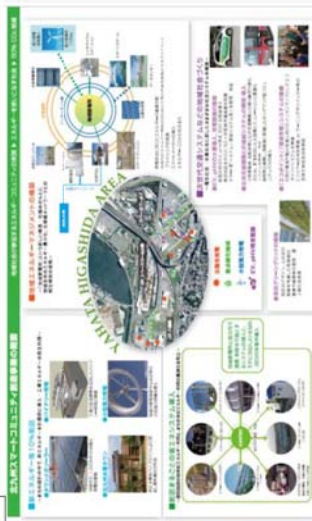
けいはんなエコシティ  
「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」全体イメージ図

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例④(北九州市)

北九州市



北九州スマートコミュニティ創造事業

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑥(柏の葉)

柏の葉



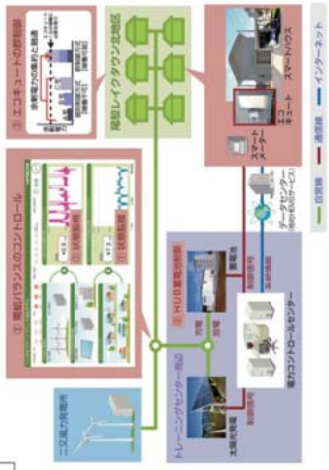
柏の葉スマートシティ環境共生都市

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑤(六ヶ所村)

六ヶ所村



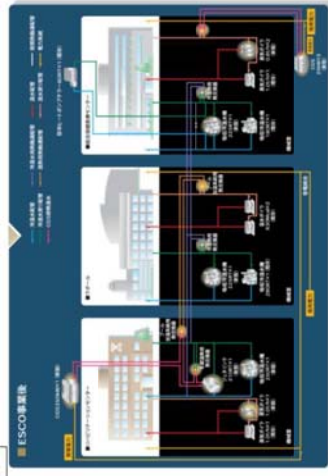
六ヶ所村スマートグリッド実証

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑦(横浜3ESCO)

横浜3ESCO

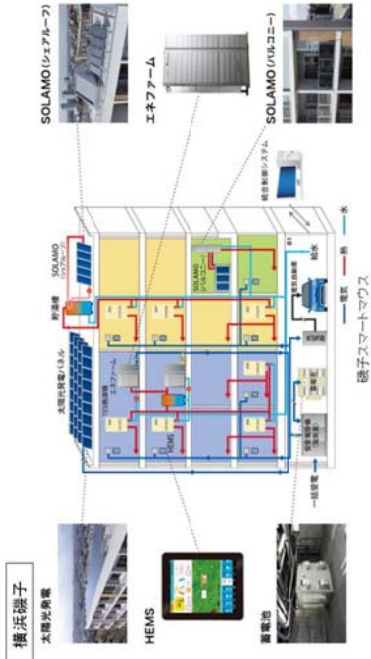


システムフロー図

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

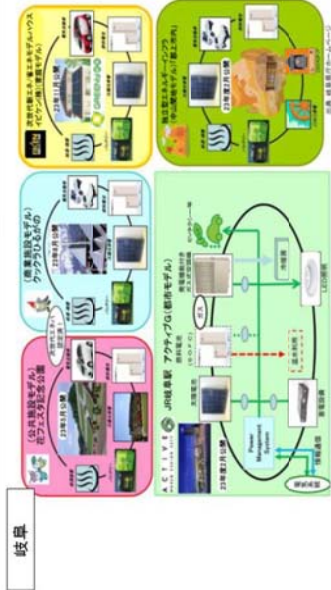
スマートコミュニティの取組事例⑧(横浜磯子)



アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑨(岐阜)



岐阜県次世代エネルギーインフラ構想

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑩(沖縄宮古島)

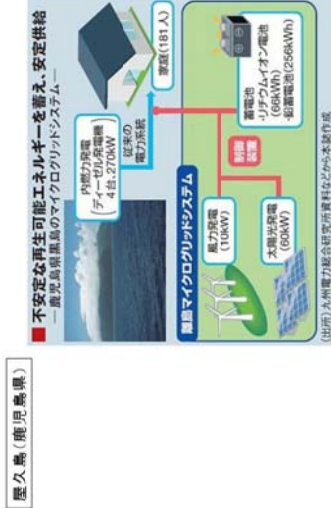


宮古市版スマートコミュニティの全体概要

アンケートに答える

設問①-②の解説(続き)

スマートコミュニティの取組事例⑪(屋久島)



屋久島

アンケートに答える

### 設問②の解説

## スマートコミュニティ導入における自治体の役割（取組）の例

■自治体は、さまざまな局面で重要な役割を担う必要があります。

- ＜自治体の役割（取組）の例＞
- ・ 事例研究を実施し、情報を発信する。
  - ・ 導入方針を検討し、マスタープランを策定する。
  - ・ エネルギー供給者（公社）になる。（国内に事例はない）
  - ・ 地域住民の取組を後押しする仕組みをつくる。
  - ・ 民間企業が事業を実施しやすい環境を築く。
  - ・ 公共施設をスマートコミュニティの構成要素として改修・整備する。
- など

※ 太陽光発電などの再生可能エネルギーや省エネ技術の導入、エネルギー使用量の見える化などは、スマートコミュニティの重要な構成要素ではありますが、それぞれを単体で実現している場合は、「スマートコミュニティの構築に取り組んでいる」とまでは言えません。

アンケートに答える

### 設問③の解説

## スマートコミュニティが実現すると

- ▶ エネルギーの自立性が高まります。
- ⇒ エネルギーの外部への依存が低減され、安定したエネルギー確保が可能です。
- ▶ 暮らしの安全・安心や暮らしやすさにつながります。
- ⇒ 独立したエネルギー網を構築することで、災害時にも安心です。
- ▶ コミュニティの形成など地域づくりにつながります。
- ⇒ エネルギーの共有や融通を通じた一体感の醸成、コミュニティ単位での雇用創出、地域産業の振興等により、地域づくりの推進につながります。
- ⇒ 高齢化社会にも対応できる部分があります。
- ▶ 新産業の勃興や雇用の創出が期待されます。
- ⇒ エネルギーを作る、送る、使うのそれぞれの段階で、新たな産業や雇用が創出されることが期待されます。
- ▶ 地球温暖化など環境にもやさしい地域になります。
- ⇒ 再生可能エネルギーや省エネ技術の導入等により、温室効果ガスの排出量を低減できる可能性があります。

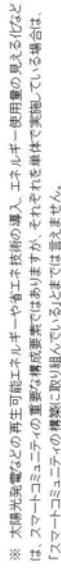
アンケートに答える

### 設問④の解説

## 導入検討を進めるために「障壁」の抽出・整理が重要

スマートコミュニティの導入検討には、下図に示すように非常に多くのステップがあり、各段階でさまざまな主体と協働しながら進める必要があります。

- 導入にたどり着くまでには、多くの障壁を乗り越えていく必要があります。事前に越えるべき障壁を抽出・整理しておくことが重要です。



アンケートに答える

### 設問⑤の解説

## 「再生可能エネルギーとスマートコミュニティ研究」の概要

- ▶ 研究会の開催：年5回
- ⇒ 知識の取得、具体的な施策の検討、参加自治体の情報交換 等
- ▶ 個別支援（グループにアテンド）：年4回
- ⇒ 研究会の参加自治体（28自治体）のうち希望した自治体を対象に、コンサルタントが訪問し、施策の立案、事業化に向けて予算要求資料の作成等を実施。
- ▶ 公開講座：年1回（平成27年1月中旬開催予定）
- ⇒ 東京都市区町村を対象に、専門有識者による第4次エネルギー基本計画やIPCC第5次評価報告書の動向に関する講演を実施。
- ▶ 広報活動
- ⇒ 研究会のホームページを開設し、検討状況やQ&Aなどを随時掲載。

アンケートに答える